

# 東北民放クラブだより

## 台風19号に阻まれた歩こう会

八巻 健(TBC)

東北民放クラブ歩こう会は昨年10月25日に秋季例会を計画し17名の参加で盛大に実施予定でした。行き先は宮城県南部・丸森町と阿武隈川舟下りです。

その矢先、10月12日に台風19号が襲来。我々の行き先と進路が重なりました。

それから一週間余、幹事がゴム長靴姿で丸森町へ向かいました。通学通勤に欠かせない阿武隈急行の鉄道は随所で土砂災害が発生し復旧の見通しも立たない由。丸森町の中心部では路面の乾いた泥が埃となって舞い上がり断水も続



丸森町の状況に胸痛む

いていました。広い運動場には浸水家具類が山と積み、泥水に浸かって重くなった畳や家具類の撤去に歯を食い縛って頑張る姿を目の当たりにして胸が締め付けられる思いでした。

遊びの訪問者を受け入れる状況はどこにもない。例会の中止を胸に、見舞いの言葉を残して現地を後にしました。

## 青森地区と秋田地区で交流会開催

青森・三内丸山で貝焼き味噌定食

佐々木 英治(RAB)

年一回の青森地区会員の交流会。今回は、世界遺産にもなろう！という青森市の三内丸山遺跡へ。

10月4日、会員8名が遺跡向いの「あおもり北彩館」内「レストラン五千年の星」で、青森名物「ホタテ貝焼き定食」を堪能。土偶展示や縄文シアターなどがある「縄文時遊館」で、縄文ポシェットや大型の板状土偶など、重要文化財・約五百点を含む約千七百点の出土品や、各地の代表的な縄文出土品など興味深く見学した。また、壁面に五千二百二十個の縄

文土器のかけらが約6メートルの高さに散りばめられている「縄文ビッグ・ウォール」などにも目を見張った。「特別展」では東北・北海道を始め代表的な縄文出土品なども目にし、貸出の「縄文服」を身に着けたりして、悠久の縄文の世界に想いを馳せた。



青森 三内丸山・縄文時遊館「縄文土器オブジェ」の前で

## 秋田・民俗芸能を勉強し...

萩原 弘(AKT)

秋田市の郷土民俗行事や芸能伝承を行っている「ねぶり流し館」に10月25日会員が集い、まず秋田の夏祭り「竿燈」「曳山」冬の「梵天」を勉強?。何を今更と思いつながら館員の説明を聴き「納

得、納得」。そして新しい知識を頭に叩き込み民俗芸能の奥深さを再認識させられました。

その後歩いて10分の会食会場に移動。10名が揃ったので交流会世話人からの現況報告、会員増強等の挨拶があり乾杯。現役時代には視聴率、営業成績、技術等を競い合った仲ですが、懇親会になれば局の垣根は無くなり仕事の自慢や失敗話、今の生活環境から楽しく充実したボランティア活動。先輩後輩の消息まで話は弾み、楽しく充実した一日となりました。次の交流会は近場か、遠出かの話もあり、皆さんこの春を楽しみに家路につきました



秋田「ねぶり流し館」竿燈前で